

# 成績評価における客観的な指標の算出方法の公表について

## 1 客観的指標の設定

定期試験の評価は100点満点とし、60点以上を合格、60点未満を不合格とする。

成績評価は、100点満点中、80点以上A、70～79点B、60～69点C、60点未満Dの4段階評価とする。

## 2 成績評価の適切な実施に係る取組

成績評価は、授業科目ごとの平均取得点数により行う。

各学生の平均得点と相対順位を把握する成績評価方法は以下のとおり。

- (1) 学科単位を基本として全学生が履修した科目の平均得点から「成績一覧表」により学年ごとの順位を求める。
- (2) 学生の平均得点と相対順位をもとにした「得点分布表」により、学年ごとの成績の分布状況を把握する。

## 3 卒業認定に関する方針

卒業の認定は、学院長が卒業試験の評価に基づいて行う。

なお、次の事項を満たした学生に対して卒業試験を実施する。

- ① 全科目の単位を取得していること。
- ② 臨床実習900時間を完了していること。

卒業試験の評価は100点満点とし、60点以上を合格、60点未満を不合格とする。